

令和7年 2月 5日
水都大阪コンソーシアム

関西の各大学との連携プロジェクト～水都大阪アカデミア成果発表会～を開催します

水都大阪コンソーシアム(委員長 近藤博宣(大阪商工会議所 常務理事)※)では、関西の各大学他と連携し、水都大阪に係る歴史・文化などを学び、水の回廊を中心とする課題を掘り下げ、学生ならではの視点で水都大阪の魅力を発見・発信するプロジェクトを推進しており、この度、各大学が今年度に取り組んだプロジェクトの成果発表などを実施します。

成果発表会にて互いの取組みを共有することで、大学間の更なる連携を深めることで、若年層による大阪の水辺のファンづくりに繋げたく思っております。

記

- 1 日 程：令和7年2月20日（木）
- 2 時 間：【プレス受付】13時00分から
【実施】13時30分から16時40分まで
- 3 場 所：グランフロント大阪北館
ナレッジキャピタル2階 アクティブラボ
- 4 内 容：各大学（追手門学院大学、大阪工業大学、関西大学、近畿大学、同志社女子大学、梅花女子大学、阪南大学）が水都大阪と取り組んだプロジェクトの成果発表と水辺関係者の方々からの総評をいただくもの

(※) 水都大阪コンソーシアム

「水と光の首都大阪」の実現のため、平成29年に大阪商工会議所、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会、大阪府、大阪市、公益財団法人大阪観光局、大阪シティクルーズ推進協議会と学識者で構成する公民共通のプラットフォームとして設立されました。

【各大学の取組み概要（敬称略）】

追手門学院大学 地域創造学部 岡田美奈子研究室

水都大阪周辺では色々な“お困りごと”が発生している。社会貢献意識の高い若者にとってお困りごと等と一緒に取り組むことは、地域の方々と繋がり、学ぶ機会であり「ワクワク体験」にもなり得る。水都大阪と若者との長期にわたる関係づくり・交流活性化に繋げる参加型「水都大阪のファンコミュニティ」の構築を目指す。

大阪工業大学 情報科学部 情報メディア学科 佐野睦夫研究室

クルーズ体験を脳波分析・心拍分析・視線分析・動作分析などを通して、マインドフルネス、ハートフルネス効果を検証する。

大阪工業大学 情報科学部 情報メディア学科 河北真宏研究室

訪日外国人観光客を対象に、水都大阪のPR映像コンテンツを生成・配信できるシステムを開発している。このシステムを使うと観光日時や希望する観光内容をもとに検索するだけでお勧めの観光コースを映像コンテンツとして見ることが出来る。

関西大学 社会学部 メディア専攻 劉雪雁研究室

β本町橋と連携し、廃棄寸前だったスワンボートを再生し、子どもたちが水辺に親しむ機会を創出することを目指してPR活動を展開する。

近畿大学 経営学部 経営学科 布施匡章研究室

大阪に観光で来られた外国人を対象にしたお手紙ワークショップを、三井ガーデンホテル大阪プレミア16階ラウンジで開催した。

同志社女子大学 現代社会学部 社会システム学科 日下菜穂子研究室

大阪の豊かな味わいを楽しんでもらう事を目的に、ゲストに自然と調和しながら「今この瞬間」を味わう場をおにぎり作りを通して提供する。ポジティブ心理学や地域マネジメントの知識を実践へと活かしている。イベント中、ゲストと大学生が言葉を越えた大阪らしい温かな交流が生まれた。

梅花女子大学 文化表現学部 日本文化学科 市瀬雅之担当

本学科の1年生が履修する「問題発見・解決セミナー」の授業において、「大川を起点に大阪の歴史や文学を活かした大阪水上バスの利用」を検討した学生がその可能性を紹介する。

梅花女子大学 文化表現学部 日本文化学科 三木雅博担当

産学連携対象授業「問題発見・解決セミナー」では、連携テーマ「水都大阪の活性化」の一環として大阪水上バスの利用拡大に向けた具体的な方策をグループ毎に検討し、プレゼンテーションを行った。今回はその中から、発表コンセプトが大阪水上バスにより「夏のファミリープラン」として実際に企画化されたプレゼンテーション「ファミリープラン」を紹介したい。

阪南大学 国際学部 国際観光学科 長谷川明彦研究室

有史以来、市民の暮らしは川と共にあった。生活に欠かせない水は川から汲み、そこで街や文化が育まれた。調査を通じて流域保全の大切さを考えたい。

◆本件に関するお問合せ先

水都大阪コンソーシアム 加宮(カミヤ)

TEL:06-6210-9315 FAX:06-6615-6300 MAIL:y-kamiya@suito-osaka.jp

◆各大学発信部署

学校法人常翔学園 広報室 担当:石村、上田

TEL:06-6954-4026 MAIL:koho@josyo.ac.jp